

トピックス

心理社会療法プログラム
就労セミナーについて



心理社会療法プログラム

1、心理社会療法プログラムとは

当院では外来・入院において、患者の疾患や治療ニーズ、また患者家族のニーズにも応じた様々な心理社会療法プログラムを実施しています。

心理社会療法プログラムは、心理社会的治療とも呼ばれています。慢性疾患である精神科疾患の多くは、長期の入院や退院の繰り返しにより、社会生活を送る能力が低下、苦手なことや不便なことが増えてしまうことがあります。そのため、本人が本来持ち合わせていた能力を取り戻し、引き出して、社会生活への復帰やQOLを高めるためのリハビリテーション・治療のプログラムです。

2、心理社会療法プログラムの内容

外来

精神科デイケア（大規模登録 平日9:30～15:30開催）

外来作業療法（毎週火曜日午前開催）

家族相談会（統合失調症患者の家族が対象 月1回1クール8回、年2回開催）

はまかぜ会（家族相談会OBの自主家族会 月1回開催）

訪問看護

病棟

回想法（1階北精神療養病棟、2階精神一般病棟、3階精神科急性期治療病棟にて実施）

社会生活技能訓練（SST）（1階北精神療養病棟、3階精神科急性期治療病棟、4階・5階精神一般病棟にて実施）

心理教育（3階精神科急性期治療病棟、5階精神一般病棟にて実施）

集団認知行動療法グループ（5階精神一般病棟にて実施）

こころのスキルアップグループ（5階精神一般病棟にて実施）

アロマグループ（5階精神一般病棟にて実施）

3、今後の展望と夢

心理社会療法プログラムは、参加された患者や家族からとても好評価を得ており、再発・再入院の防止にも役立っているとスタッフは実感しています。しかし、それはスタッフの主観や印象であるため、今後は科学的な根拠をもった数値として実証し、有効性のあるものとして、しっかり提供していけたらと考えています。

また、来年度より精神科救急病棟（スーパー救急病棟）が開設されます。疾患、精神状態も様々な患者が当院を利用されるものと予想しています。可能な限り患者のニーズに合う心理社会療法プログラムが提供できるような多種多様なプログラムを準備していければと考えています。

精神科治療において、薬物療法と心理社会療法プログラムは車の両輪のように例えられ、このどちらが欠けても治療がうまくいかないことがあります。私たちは当院で行われる心理社会療法プログラムを、患者一人ひとりのニーズに沿った治療に有用なプログラムとして提供していきたいと考えています。当院との関わりは人生の一部に過ぎません。心理社会療法を含めた治療プログラムが患者、そしてその家族の幸せに寄与できればと考えています。



就労セミナーについて

デイケア暁では、平成25年度に就労支援プログラム「就労セミナー」を立ち上げました。1クール3ヶ月、週1回のプログラムで、これまでに5クール実施してきました。

グループワークを通して、働くことについて考え、学び、体験し、就労のサポートを行っています。

<プログラム内容>

「病気と付き合いながら働くことについて」・「職場におけるコミュニケーション」・「仕事を探そう」・「履歴書の書き方」・「面接について」・「作業体験（パソコン・清掃・接客・軽作業）」・「施設見学」等

<参加メンバーの感想>

- ・回を重ねるごとに実践的になり、レベルが上がっていると思った。
- ・自分には出てこない意見が沢山出て参考になった。
- ・働くことは、自分を知る事が大切だと思った。
- ・あっという間だったけど、内容の濃い3ヶ月だった。充実していて、就労を前向きに考えたい。自分の意見を言えるようになった。
- ・経験を積めたのがよかった。自分にとってプラスになった。
- ・前と後で、やってみないと分からないことを知って、充実した。

<これまでの就職先>

- ・一般雇用…1名
- ・障害者雇用…1名
- ・就労継続支援B型…3名

①グループワーク

自分の体験談や悩みを話し合いながら、働くことについてグループで学習しています。



②施設見学

これまで、ハローワーク新潟・新潟障害者職業センター・社会福祉法人とよさか福祉社会クローバー・障がい者就労支援センタードリーム・アイエスエフネットライフ新潟に見学に行ってきました。



③喫茶営業

毎週火曜日13:30～14:30に就労メンバーで喫茶店の運営をしています。
喫茶営業を通して、仕事の模擬体験をしています。

